

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	政策部
	17094	ホームページ情報発信事業	課名	広報秘書課 広報G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進		02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進		01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	02:広報活動費		
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	市内外の人が、市の施策や魅力をどこでも必要な時に習得できるよう、ホームページにより情報を発信する。また、より身近で情報を取得しやすい環境を整え、市民参画や協働を促進するため、フェイスブック等のSNSツールを利用するなど、ICTを活用したコミュニケーション機能の充実を図る。
概要		市ホームページにより、タイムリーで安定的な市政情報の発信を行うとともに、他の広報媒体と連動した全庁的な情報発信力の強化を図るため、ウェブアクセシビリティやSNS等に関する職員研修を継続する。また、より効果的かつ効率的なホームページ運用のため、現行のシステムを見直し、シティプロモーション専用サイトとの統合やサーバのクラウド化を含めた研究・検討を行い、システムの更新を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○ホームページの運用 ・サーバの賃借 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する研究・検討 ○CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	○ホームページの運用 ・サーバの賃借・利用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ○ホームページ更新準備 ・ホームページ構成検討 ・ページ作成 ○CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	○ホームページの運用 ・サーバの使用 ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ○CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(年1回)	
	年度実績	○ホームページの運用 ・情報発信件数 1,854件 ・フェイスブック掲載件数 127件 ・賃借契約によるハード・ソフトウェアの保守 ・システム更新に関する内容・経費に関する情報収集・検討 ○CMS操作・アクセシビリティ・SNS活用等の研修の実施(3月)	○ホームページの運用 ・情報発信件数 2,058件 ・フェイスブック掲載件数 116件 ・サーバの賃借、ハード・ソフトウェアの保守 ○ホームページ更新 ・ホームページリニューアル	○ホームページの運用 ・情報発信件数 2,026件 ・フェイスブック掲載件数 104件 ・サーバの賃借、ハード・ソフトウェアの保守	
事業の計画・実績	計画額	事業費	6,700千円	10,500千円	4,300千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円	500千円	500千円
	予算額	事業費	6,684千円	10,330千円	3,940千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	520千円	475千円	400千円
	決算額	事業費 ①	6,584千円	10,157千円	3,788千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	453千円	407千円	489千円
人件費	総人件費 ②	3,925千円	6,271千円	3,952千円	
	一般職員	3,925千円	6,271千円	3,952千円	
	所要人員	0.50	0.80	0.50	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		10,509千円	16,428千円	7,740千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 ホームページ年間更新件数	計画値 1,500	1,600	1,700
		ホームページ(新規・既存)の年間更新件数	実績値 1,854	2,058	2,026
			単位 件	件	件
	②	名称 ホームページ年間閲覧件数	計画値 610,000	620,000	630,000
		ホームページの年間閲覧件数	実績値 693,453	939,908	1,102,482
			単位 件	件	件
③	名称 SNSでの年間情報発信件数	計画値 170	180	190	
	フェイスブックでの年間情報発信件数	実績値 127	116	104	
		単位 件	件	件	

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 フェイスブックについては、市の事業や取組、新型コロナウイルス感染症に関連する情報、各種啓発など、催し以外の情報発信に努める。情報の「見つけやすさ」については、ホームページアンケートの動向を見ながら、必要に応じて各課と相談の上、向上を図る。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 フェイスブックにおける情報発信については、市の催し以外に、新型コロナウイルス感染症関連の取組、市公式YouTubeやシティプロモーション専用ホームページでの動画掲載情報などを記事として発信した。情報の「見つけやすさ」については、スライドバナーの活用や注目ワードの更新、令和4年4月の組織機構改革とあわせたページ整理などを行うことで改善を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 ホームページにおける情報発信については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連の情報が増加したことにより、2,026件の更新を行った。フェイスブックについては、コロナ禍で催しが中止となったことなどから、前年度よりも少ない104件の記事掲載となった。ホームページの運用管理については、保守管理契約に基づき、サーバの賃借やシステムの保守を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、CMS操作やウェブアクセシビリティ、SNS活用などに関する庁内職員向けの研修を実施することができなかった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 令和2年度のホームページリニューアル以降、情報の探しやすさ・分かりやすさの向上、市の魅力の発信性の向上、安全性の確保を意識し、ニーズの高い情報をタイムリーに発信したことにより、計画値(63万件)の約1.75倍となる1,102,482件の閲覧数を得ることができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 市民ニーズの高い情報を分かりやすく提供できるよう、タイムリーな情報発信と見つけやすさの向上が必要である。また、市内外への魅力発信につながるフェイスブックを活用した情報提供を増加させる必要がある。さらに、魅力的な情報の発信やウェブアクセシビリティの向上のため、ホームページに関する職員研修を実施する必要がある。	次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 利用者からの問合せやホームページアンケートの意見などを踏まえて、ホームページの管理運営を行うとともに、市から積極的に発信したい情報は、バナー等を利用するなど、「見つけやすい」工夫により情報発信を行う。市の魅力となる事業や取組に関する情報発信について、フェイスブックを積極的に活用するよう関係課への呼び掛けを行う。他自治体のホームページやフェイスブック活用の好事例などを踏まえ、職員研修を企画する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 ホームページ閲覧者が必要な情報に容易にアクセスでき、タイムリーで魅力的な情報を得ることができる環境を整えることで、市政への関心が高まり、市民参画やさまざまな主体による交流活動の促進につながることを期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	政策部 広報秘書課 広報グループリーダー 波多野 祐一
【最終評価者】	政策部 広報秘書課長 末崎 照美

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	B
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,940 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	3,940 千円
	令和4年度への繰越額	千円